

## 利用にあたって

1. 本書は県林業事務局各課、林業技術センター及び県関係部課の業務統計資料のほか、三重県統計情報事務所、営林署、森林開発公団、その他官公署の資料により編集した。
2. 資料は特に断らないかぎり、平成4年(年度、暦年)に基づき、市町村又は出先、事務所管内別に記入した。また全体については、過去と比較できるよう原則として昭和63～平成3年度を併記した。
3. 単位は表右肩に示し、資料出所及び特に必要な事項を脚注として掲げた。
4. 単位未満の数は四捨五入したため、総数と内訳数の計とが一致しない場合がある。
5. 統計表中、該当なしは空欄、または一とし、単位未満は0とした。
6. 森林の定義による区分について
  - ・ 2条森林  
「森林法」第2条において規定される森林で「木竹が育成している土地及びその上にある立木竹」並びに「木竹の集団的な生育に供される土地」の総称である。
  - ・ 5条森林  
「森林法」第5条において規定される地域森林計画の対象とする森林で、2条森林のうち、国有林及び試験研究の目的に供している森林で農林水産大臣の指定するものなどを除いた民有林（近隣する森林と森林施業上の関連を有しない0.3ヘクタール以下の森林など森林として利用することが適当でない認められる民有林を除く。）である。  
5条森林は、地域森林計画の樹立又は変更の際に森林計画図においてその区域が明らかにされる。

## 目次

1. 森林・林業の概要	
(1) 人口・就業者・林家	2
(2) 森林の所有規模別所有者数及び面積	6
(3) 林業所得	6
(4) 林業粗生産額	7
(5) 森林面積	8
(6) 民有林樹種別面積(5条)	12
(7) 民有林樹種別蓄積(2条5条)	20
(8) 民有林森林資源年齢別構成表(5条県計)	28
(9) 国有林の概要(林野庁所管)	30
(10) 公団造林の概要	32
(11) 県行造林の概要	34
(12) 県行造林事業の実績	38
2. 森林計画	
(1) 森林施業計画認定事業実績	40
(2) 機能別森林面積	41
3. 造林・間伐	
(1) 人工造林・保育面積	44
(2) 経営形態別人工造林面積	48
(3) 樹種別人工造林面積	48
(4) 複層林・育成天然林面積	49
(5) 造林用苗木生産量及び苗畑面積	49
(6) 採取源指定状況	50
(7) 公営種子採取の実績	50
(8) 次代検定林設定状況	50
(9) 資金別・担い手別間伐面積・材積	52
4. 林道	
(1) 林道事業実績	58
(2) 林道・作業道現況	62

5. 森林組合	
(1) 森林組合連合会構成と主要事業の実績	68
(2) 森林組合構成	70
(3) 事業の実績	72
(4) 生産森林組合構成	74
6. 担い手	
(1) 市町村別林業就業者	80
(2) 市町村別林業専業労働者	82
(3) 青年林業士・指導林家数	84
(4) 林業研究グループの推移	86
7. 入会林野	
(1) 入会林野等整備の現況	88
8. 林産物	
(1) 木材需給状況	92
(2) 素材需給状況	93
(3) 素材生産量	93
(4) 製材工場の概要	94
(5) チップ工場の現況	96
(6) 木材市売市場木材取扱数量	96
(7) 特用林産物生産量	97
9. 林業金融	
(1) 農林漁業金融公庫資金利用状況	102
(2) 林業改善資金利用状況	102
(3) 林業経営安定対策資金利用状況	104
(4) 国産材産業振興資金利用状況	104
(5) 農林中央金庫資金利用状況	104
(6) 林業信用基金の債務保証額	104
10. 林業機械	
(1) 林業機械保有現況	106
(2) 林業機械保有区分	106

11. 保安施設	
(1) 治山事業実績	108
(2) 治山災害関係事業実績	108
(3) 保安林種別面積	110
12. 森林保全	
(1) 林地開発許可実績	124
(2) 森林被害状況	124
(3) 森林病虫害等防除事業実績	126
13. 環境緑化	
(1) 緑の少年隊結成状況	128
(2) 緑化樹種別在圃量の推移	129
(3) 緑化樹販売数量	129
(4) 緑化樹生産苗畑面積	130
14. 鳥獣保護	
(1) 狩猟者登録証交付状況	133
(2) キジ放鳥実績	133
(3) 狩猟期間中に捕獲された鳥獣	134
(4) 有害鳥獣として捕獲された鳥獣	136
(5) 鳥獣保護施設	138
(6) 休猟区等	140
15. 自然公園	
(1) 自然公園概要	142
(2) 自然公園利用状況	146
(3) 自然公園施設整備実績	146